

- ・上下水道総務課長 ～ 現在、浄水場で作る水と別海から来る水の2系統で成り立っている。
 ただし、別海からの水源で農家さんについては、農業用水特別会計で営農用として分類されている。
 厚床、落石の家事用については水道事業となっている。
 現行では、農業用水特別会計と水道事業会計で同様の金額となっている状況である。
- ・曳田委員 ～ 今後、根室市の水道料金が低い理由を市民へ説明する際にどのように説明していくのが良いか。
 他都市とはどのような違いがあるのか。
- ・上下水道総務主査 ～ 1点目として根室市は半島が長く、工事に係る経費や管の経費などが密集している町と比べると高額になってしまうこと。
 2点目として、水源が沼の水を使っているため、湧き水などを利用するよりも水を浄化するにあたりコストがかかってしまう。
 3点目として、起伏が激しい町であるため、低いところから高いところへ水を運ぶポンプ場などが必要となる。
 この3点が大きな要因となっていると考えられる。
- ・建設水道部長 ～ 総じて言いますと、根室特有の地理的条件が非常に大きい。
 半島が長いことや大きな山が無く、またそれに伴う水源も無い。
 そのため、施設などにもコストがかかってしまう。
 北海道ですので範囲が広いというのは他の町でもありますが、根室特有の地理的要因も相まって水道事業にとっては非常に厳しい地理的条件となっている。
- ・委員 ～ 人口が少ない分1件に係るコストがかかるということですね。
 今回、道内他都市の状況を比較していただきましたが、他町村で、根室市よりも料金が低いところはあるのか。
- ・上下水道総務主査 ～ 一番高い地域としては羅臼町が一番高い水準となっている。
 羅臼町については、夕張市よりも高い水準である。
 その他の町村については、把握していない。
- ・委員 ～ わかりました。
- ・委員長 ～ 過去のこととなるが、当時から水質が悪い温根沼・丹根沼の水ではなく別海の水を市全域に引くことは出来なかったのか。
- ・建設水道部長 ～ もともとは、農業用水として農家さんのために引いた水である。
- ・上下水道総務課長 ～ 経緯として、農用地開発公団で別海町から水が供給され農業用水が整備された。
 また、厚床地区・落石地区については、それぞれ浄水場があり上水道事業により水が供給されていた。
 その後、平成の初め頃、厚床では水質の悪化、落石では水量不足により現状としては、農業用として整備された設備により水を一般家庭等へ水を供給している状況となっている。
- ・委員 ～ 別海の水はどこまで来ているのか。

- ・上下水道総務課長 ～ 穂香まで来ている。
- ・委員長 ～ 釧路市が19.5%、根室市は21.5%の増額となりこのような位置関係となっております。
これを踏まえ、次に参りたいと思います。

(2) 第1回の委員会内容について再度確認及び今後のスケジュールについて

第1回の委員会内容について再度確認及び今後のスケジュールについて、上下水道総務主査より説明。

【質疑応答】

- ・長谷川委員長 ～ 前回示したパターン1から4までを大きく比較していただきました。
この件に関して、皆様からご意見等はございますか。
前回も確認したが、一般家庭ではどの程度水を使用しているのか。
- ・上下水道総務主査 ～ 単身世帯では5t、2人世帯であれば10t、4人世帯ですと20t程度となっている。
- ・委員長 ～ 例えば、20t使うとしてパターンごとにはどのようになるのか。
- ・上下水道総務課長 ～ 4人家族で20tであれば、パターン1では500円、パターン2では615円、パターン3では914円、パターン4ですと1,040円増額となる。
- ・建設水道部長 ～ 今回、メリット、デメリットを含めて4パターンを改めて紹介しました。
これは、前回のおさらいとして確認していただきたい。
前回もお話したと思うが、色々なシミュレーションを行う中で、特徴的なものを4つ紹介したものであり、この中から選ぶということではありません。
これからそれぞれの立場の方から様々なご意見をいただくとと思うが、それを踏まえて、どれをベースにするかも含めて微調整をしながら最終的な案を見出していきたいと思っておりますので、皆様からご意見をいただきたい。

(3) 委員からの意見等の集約について

- ・委員長 ～ 今年は、漁業が大変な年でありましたが、曳田委員から、漁業関係の水の関係での状況はどのようになっているか。
- ・委員 ～ 漁業生産だけでいけば、各魚種で相対的に減少し水揚げは6万トンを超える状況となっており、売り上げも大きくマイナスとなっている。
氷については、水道料金と必ずしもリンクしているものではないが、多少なりともコストに影響は出るものである。
根室市として外来船を誘致しているが、根室の氷は高いとお叱りを受けている。
組合としても来年から氷の価格を上げる計画をしている。
- ・委員長 ～ 副委員長、農業の関係はどうでしょうか。
- ・副委員長 ～ 現在農家個数は減少しているが、乳牛の頭数は変わっていないため、水需要は極端に落ちることは無いと思う。

仕方が無いと思う反面、逆にどうなれば安くなるのか。

高くなる要因はわかったが、この町がどうなれば水道料金が安くなるのか、また、今後は高くなる一方なのかなど、今後の展望などがあれば聞きたい。

・上下水道総務課長 ～ 現在の根室市の水需要としては、人口減少、また農業・漁業などの産業の兼ね合いから今後増加する見込みには立てない状況である。

今後水需要が減少し、一方で施設の老朽管の更新などが増加することとなり、収入は増えないが費用は増えるという状況となる。

また、平成30年度には貯金も無くなり、その後毎年度平均で1億5千万円程度が不足する見込みとなっていることから料金の値上げをせざるを得ない状況となっている。

どうなれば料金が安くということであれば、根室市としては水をたくさん使っていただかなければ使用料が入ってこないため、例えば先ほど話で出ていた外来船の誘致や大企業が参入してくるなどがあれば水需要は増えることとなると思うが、現状では水需要においては家事用だけではなく営業用や工業用においても減少傾向となっている。

・委員 ～ 値上げはネガティブな印象しか持てないと思う。

人口減少や産業の後退などのネガティブな情報だけ出すだけではなく、ポジティブな情報も入れつつ情報発信は出来ないものか。

今後、市民生活を第一にするのか、産業振興を進めるのかなどバランスが出てくると思うので、その点の議論も必要となってくると思う。

・委員長 ～ 産業が発展し、経済が良くなり人口が増加するというのが良い循環であると思う。

現在は、年に400人から500人の人口減、10年後はどうなるのか、人口減により経済は発展しないなどの悪循環が現在の状況であると思う。

四島が帰ってこなくても、漁業が良くなり根室市が発展していくこととなれば好循環となると思う。

根室市民は北方領土の共同経済活動を期待しているとは思いうし、やはり根室は漁業の町であると思う。

どんどん魚が水揚げされトラックが動いて、資材を使いそれが根室市の発展であると思うが、今年是不漁である。

その悪い中でもいい方向へ進んで行きたいと考えている。

・建設水道部長 ～ それぞれの立場から、厳しい現状を含めてご意見をいただきましたと思う。

景気が悪い、人口減少に歯止めがかからないという中で町全体が疲弊しているというのは現実として捉えている。

その中で、営業用なのか、工業用なのか、家事用なのか、どこに重点を置くべきなのかというのは、市としても非常に迷っている状況であり、パターン4により広く浅く皆さんから負担を求めるところで現在落ち着いているのが正直なところである。

今回、4つのパターンの中でも救えていない部分のご意見をいただいたの

で、答えられる部分はお答えしましたが、持ち帰えさせていただき、パターンの修正も含め庁内で協議し次回お示ししたいと思う。

・委員長 ～ 最後に今後のスケジュールをお願いします。

・上下水道総務主査 ～ 今後、毎月1回ずつ、計3回を予定している。

日程及び内容については、別紙のとおり予定しておりますので、出席が困難である場合は、先に連絡をいただければと思います。

また、近くなりましたらこちらから連絡させていただき、出欠の確認をいたします。

今後、この回数で答申できるかについては不明であるため、あくまでも予定となっておりますのでよろしくお願いいたします。

・委員長 ～ ただいま、今後の予定について担当から説明をいただきました。

その他、事務局から補足があればと思います。

・建設水道部長 ～ 特にありません。

・委員長 ～ それでは、皆さん本日は熱心にご審議いただきありがとうございます。

会議の最終日としては来年3月27日を予定しております。

今後徐々に皆さんのご協力を得ながら改定案を絞り込んでいきたいと思えます。次回は年明けとなりますので、よろしくお願いいたします。

本日は皆さんどうもありがとうございました。

以 上